

2024年9月22日実施

令和6年度(第71回)
情報処理検定試験
〈ビジネス情報〉
第2級 筆記試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は8ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

【3】 次の説明文に最も適した答えをア，イ，ウの中から選び，記号で答えなさい。

1. 10進数の 5 と2進数の 1110 との積を表す2進数。

ア. 1000110

イ. 1011010

ウ. 1111000

2. ファイル転送時間の短縮やディスクの空き容量を増やすことを目的に，容量を小さくしたデータを元の状態に戻すこと。

ア. 復号

イ. 圧縮

ウ. 解凍

3. 人件費やインク代など，企業の経営やシステムの運用，管理にかかるさまざまな費用。

ア. ランニングコスト

イ. TCO

ウ. イニシャルコスト

4. 磁気ディスク装置において，同心円状の部分の集合を円筒状にとらえた記憶領域。

ア. セクタ

イ. トラック

ウ. シリンダ

5. ある商店におけるA商品購入者表をもとに，B商品購入者表と差集合した仮想表を作成する。作成された仮想表のレコード件数。

A商品購入者表

顧客No	顧客名
2	西本 ○○
8	亀井 ○○
10	高島 ○○
14	岡村 ○○
15	安部 ○○
16	金井 ○○
21	金沢 ○○
22	佐伯 ○○
23	藤野 ○○
27	寺田 ○○

B商品購入者表

顧客No	顧客名
5	竹中 ○○
10	高島 ○○
13	稲葉 ○○
16	金井 ○○
18	白井 ○○
21	金沢 ○○
23	藤野 ○○
30	土井 ○○

ア. 4

イ. 6

ウ. 14

- 【4】 ある市の保護犬譲渡会では、見学状況を次のようなリレーショナル型データベースで管理している。次の各問いに答えなさい。

登録犬表

登録犬コード	犬種コード	性別	月齢
R0001	D01	オス	34
R0002	D04	メス	4
R0003	D05	メス	15
R0004	D06	オス	2
R0005	D03	メス	26
R0006	D02	オス	72
R0007	D07	オス	12
R0008	D03	オス	6
R0009	D02	メス	38
R0010	D07	メス	8
R0011	D06	メス	1
R0012	D04	メス	30
R0013	D01	オス	24
R0014	D03	メス	49
R0015	D07	オス	13

希望者表

希望者コード	希望者名	居住地	譲渡回数
F001	稲田 ○○	市内	1
F002	岩田 ○	市外	0
F003	中川 ○○	市内	2
F004	内野 ○○	市内	0
F005	熊沢 ○	市外	0
F006	安田 ○	市外	0
F007	柳田 ○○	市内	1
F008	川辺 ○○	市外	2
F009	河井 ○	市内	0
F010	福原 ○○	市内	1

犬種表

犬種コード	犬種	サイズ
D01	柴犬	中型犬
D02	トイプードル	小型犬
D03	ポメラニアン	小型犬
D04	キースホンド	中型犬
D05	サモエド	大型犬
D06	ミックス	小型犬
D07	ミックス	中型犬
D08	ミックス	大型犬

見学表

見学番号	希望者コード	登録犬コード	引取希望
1	F001	R0011	なし
2	F001	R0001	あり
3	F002	R0005	あり
4	F003	R0002	あり
5	F004	R0012	あり
6	F005	R0004	あり
7	F006	R0011	なし
8	F007	R0011	あり
9	F008	R0014	あり
10	F009	R0009	なし
11	F009	R0006	あり
12	F009	R0009	あり
13	F010	R0001	なし
14	F010	R0012	あり
15	F006	R0002	あり

- 問1. 次の表は、登録犬表をもとにして作成したものである。このようなリレーショナル型データベースの操作として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 結合
イ. 選択
ウ. 射影

登録犬コード	性別	月齢
R0001	オス	34
R0002	メス	4
R0003	メス	15
R0004	オス	2
R0005	メス	26
R0006	オス	72
R0007	オス	12
R0008	オス	6
R0009	メス	38
R0010	メス	8
R0011	メス	1
R0012	メス	30
R0013	オス	24
R0014	メス	49
R0015	オス	13

問2. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 希望者コード
FROM 希望者表
WHERE 譲渡回数 >= 1
```

ア.

希望者コード
F001
F003
F007
F008
F010

イ.

希望者コード
F003
F008

ウ.

希望者コード
F002
F004
F005
F006
F009

問3. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 登録犬コード, 犬種
FROM 登録犬表, 犬種表
WHERE 登録犬表.犬種コード = 犬種表.犬種コード
AND 性別 = 'メス'
AND サイズ = '小型犬'
```

ア.

登録犬コード	犬種
R0001	柴犬
R0007	ミックス
R0013	柴犬
R0015	ミックス

イ.

登録犬コード	犬種
R0004	ミックス
R0006	トイプードル
R0008	ポメラニアン

ウ.

登録犬コード	犬種
R0005	ポメラニアン
R0009	トイプードル
R0011	ミックス
R0014	ポメラニアン

問4. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 希望者名, 居住地
FROM 登録犬表, 犬種表, 希望者表, 見学表
WHERE 登録犬表.犬種コード = 犬種表.犬種コード
AND 登録犬表.登録犬コード = 見学表.登録犬コード
AND 希望者表.希望者コード = 見学表.希望者コード
AND 引取希望 = 'あり'
AND 犬種 = 'キースホンド'
```

ア.

希望者名	居住地
中川 ○○	市内
内野 ○○	市内
福原 ○○	市内
安田 ○	市外

イ.

希望者名	居住地
岩田 ○	市外
川辺 ○○	市外

ウ.

希望者名	居住地
熊沢 ○	市外
柳田 ○○	市内

問5. 次のSQL文を実行したとき、表示される適切な数値を答えなさい。

```
SELECT COUNT(*) AS 実行結果
FROM 登録犬表
WHERE 月齢 > 24
```

実行結果
※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

問4. 次の表は、ある動物園の利用料金早見表である。「大人料金」と「子供料金」にそれぞれ人数を掛けて利用料金を求め、「合計金額」を表示する。B8に次の式が設定されている際の表の空欄(a)にあてはまる値を選び、記号で答えなさい。ただし、割引条件として、「合計金額」がE3の金額以上の場合は、「合計金額」にE4の「割引率」を掛けて割引料を求め、割引料を差し引いた金額を「合計金額」とする。なお、この式をG13までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	利用料金			割引条件			
3	大人料金	500		合計金額	2,000	円以上	
4	子供料金	300		割引率	10%	引き	
5							
6	利用料金早見表						
7	子供\大人	0	1	2	3	4	5
8	0	0	500	1,000	1,500	1,800	2,250
9	1	300	800	1,300	1,800	2,070	2,520
10	2	600	1,100	1,600	1,890	2,340	2,790
11	3	900	1,400	1,900	2,160	2,610	3,060
12	4	1,200	1,700	1,980	(a)	2,880	3,330
13	5	1,500	1,800	2,250	2,700	3,150	3,600

$$=(\$B\$3*\$B\$7+\$B\$4*\$A8)*IF(\$B\$3*\$B\$7+\$B\$4*\$A8>=\$E\$3,1-\$E\$4,1)$$

- ア. 2,410
イ. 2,420
ウ. 2,430

問5. 次の2学年における選択コース人数集計表は、選択コース希望一覧表をもとに行方向に「組」ごとの人数、列方向に「コース」ごとの人数を集計したものである。この集計機能として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	選択コース希望一覧表					選択コース人数集計表				
3	組	番	生徒名	コース		データの個数/人数				
4	1	1	淡路	○○	文系	組	文系	理系	特進	総計
5	1	2	飯村	○○	文系	1	22	10	8	40
6	1	3	伊場	○○	理系	2	15	15	10	40
7	1	4	植田	○○	理系	3	23	10	7	40
8	1	5	大場	○○	特進	4	14	20	6	40
9	1	6	小川	○○	理系	集計	74	55	31	160
10	1	7								
160	4	37	又吉	○	理系					
161	4	38	宮地	○○○	特進					
162	4	39	本山	○○	文系					
163	4	40	門前	○○	理系					

ア. ゴールシーク

イ. ピボットテーブル

ウ. フィルタ

【6】 次の表は、ある店舗における冷凍食品の売上数量一覧表である。作成条件にしたがって、各問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	冷凍食品売上数量一覧表									
3										
4	商品 コード	商品名	分類名	売上数量				売上数量計	順位	備考
5				第1週	第2週	第3週	第4週			
6	B02	エビピラフ	米飯	53	62	71	42	228	12	
7	S02	から揚げ	惣菜	78	76	87	62	303	5	
8	S03	餃子	惣菜	80	88	84	83	335	1	○
9	B03	五目炒飯	米飯	86	74	57	51	268	10	
10	K02	たい焼き	菓子	65	75	90	68	298	7	
11	S01	たこ焼き	惣菜	79	77	84	80	320	3	
12	M03	ナポリタン	麺	51	84	51	84	270	9	○
13	S04	ハンバーグ	惣菜	81	90	86	73	330	2	○
14	M01	冷やし中華	麺	89	61	56	88	294	8	○
15	M02	ミートソース	麺	72	63	58	56	249	11	
16	B01	焼きおにぎり	米飯	71	86	79	75	311	4	
17	K01	ワッフル	菓子	82	69	81	68	300	6	
18										
19	分類別売上数量分析表									
20	分類 コード	分類名	売上数量 合計	売上数量 平均	構成比率					
21	S	惣菜	1,288	322	36.7%					
22	M	麺	813	271	23.2%					
23	B	米飯	807	269	23.0%					
24	K	菓子	598	299	17.1%					

作成条件

1. 「冷凍食品売上数量一覧表」は、次のように作成する。なお、売上数量計に同額はないものとする。

(1) 「商品コード」は次のように構成されている。

例 M01 → M 01
分類コード 分類内の連番

(2) 「分類名」は、「商品コード」の左端から1文字目を抽出し、「分類別売上数量分析表」を参照して表示する。

(3) 「売上数量計」は、「商品コード」ごとの「第1週」から「第4週」までの「売上数量」の合計を求める。

(4) 「順位」は、「売上数量計」を基準として、降順に順位を求める。

(5) 「備考」は、「売上数量」の「第4週」が「第3週」以上、または「売上数量計」が 330 以上の場合、○を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。

2. 「分類別売上数量分析表」は、次のように作成する。

(1) 「売上数量合計」は、「冷凍食品売上数量一覧表」の「分類名」ごとに「売上数量計」の合計を求める。

(2) 「売上数量平均」は、「冷凍食品売上数量一覧表」の「分類名」ごとに「売上数量計」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。

(3) 「構成比率」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

「売上数量合計 ÷ 売上数量合計の合計」

問1. C6に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =HLOOKUP(LEFT(A6,1), \$A\$21:\$B\$24,2,FALSE)
- イ. =VLOOKUP(LEFT(A6,1), \$A\$21:\$B\$24,2,TRUE)
- ウ. =VLOOKUP(LEFT(A6,1), \$A\$21:\$B\$24,2,FALSE)

問2. I6に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をI17までコピーする。

- ア. =RANK(H6,\$H\$6:\$H\$17,0)
- イ. =RANK(H6,\$H\$6:\$H\$17,1)
- ウ. =RANK(G6,\$G\$6:\$G\$17,1)

問3. J6に設定する次の式の空欄(a)~(c)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をJ17までコピーする。

=IF([a](G6>=[b]),[c]>=330),"○","")

- | | | |
|-------|--------|-------|
| ア. G6 | イ. OR | ウ. H6 |
| エ. I6 | オ. AND | カ. F6 |

問4. C21に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =SUMIFS(\$C\$6:\$C\$17,\$H\$6:\$H\$17,B21)
- イ. =SUMIFS(\$H\$6:\$H\$17,\$C\$6:\$C\$17,B21)
- ウ. =SUMIFS(\$C\$6:\$C\$17,\$D\$6:\$D\$17,B21)

問5. E21に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をE24までコピーする。

- ア. =C21/SUM(\$C\$21:\$C\$24)
- イ. =D21/SUM(\$D\$21:\$D\$24)
- ウ. =SUM(\$C\$21:\$C\$24)/C21

(令和6年9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第71回)情報処理検定試験ビジネス情報 第2級 筆記

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【5】	問1	問2			問3	問4	問5
		(a)	(b)	(c)			

【6】	問1	問2	問3			問4	問5
			(a)	(b)	(c)		

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和6年9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第71回)情報処理検定試験ビジネス情報 第2級 筆記

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	カ	コ	ア	ク	イ

【2】	1	2	3	4	5
	エ	ケ	オ	イ	キ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	ウ	ア	ウ	イ

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	ア	ウ	ア	6

各3点
20問

小計

60

【5】	問1	問2			問3	問4	問5
		(a)	(b)	(c)			
	ア	オ	ウ	イ	ア	ウ	イ

【6】	問1	問2	問3			問4	問5
			(a)	(b)	(c)		
	ウ	ア	イ	カ	ウ	イ	ア

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2024年9月22日実施

令和6年度（第71回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報〉
第2級 実技試験問題

注意事項

- 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
- 監督者の指示にしたがって、シート名「報告書」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
- 試験問題は2ページあります。
- 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
- 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
- 印刷は監督者の指示にしたがって、1ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

次の表は、ある年のトマトの出荷報告書である。作成条件にしたがって、シート名「品目表」とシート名「出荷表」から、シート名「報告書」を作成しなさい。

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

〔 設定する書式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数 〕

2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「1. 全国出荷量表」は、次のように作成する。

(1) 「品目名」は、「コード」をもとに、シート名「品目表」を参照して表示する。

(2) 「作付面積 (ha)」は、シート名「出荷表」から「コード」ごとに「作付面積 (ha)」の合計を求める。

(3) 「前年出荷量 (t)」は、「コード」をもとに、シート名「品目表」を参照して表示する。

(4) 「出荷量 (t)」は、シート名「出荷表」から「コード」ごとに「出荷量 (t)」の合計を求める。

(5) 「前年比」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

$$\text{「出荷量 (t) } \div \text{ 前年出荷量 (t)」}$$

(6) 「産地数」は、シート名「出荷表」から「コード」ごとの件数を求める。

(7) 「合計」は、各列の合計を求める。

5. 複合グラフは、「1. 全国出荷量表」から作成する。

(1) 数値軸（縦軸）の目盛は、最小値 (0)，最大値 (500,000) および間隔 (100,000) を設定する。

(2) 第2数値軸（縦軸）の目盛は、最小値 (0)，最大値 (300,000) および間隔 (60,000) を設定する。

(3) 軸ラベルの方向を設定する。

(4) 凡例の位置を設定する。

(5) データラベルを設定する。

6. 「2. 中部地方出荷量表」は、次のように作成する。

(1) 「収穫量 (t)」は、シート名「出荷表」から「産地」ごとに「収穫量 (t)」の合計を求める。

(2) 「出荷量 (t)」は、シート名「出荷表」から「産地」ごとに「出荷量 (t)」の合計を求める。

(3) 「順位」は、「出荷量 (t)」を基準として、降順に順位を求める。

(4) 「出荷割合」は、次の式で求める。ただし、小数第3位未満を切り上げ、%で小数第1位まで表示する。

$$\text{「出荷量 (t) } \div \text{ 収穫量 (t)」}$$

(5) 「備考」は、「順位」が4位以内、かつ「出荷割合」が90.0%以上の場合、○を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

	A	B	C
1			
2	品目表		
3	コード	品目名	前年出荷量 (t)
4	S01	夏秋	207,600
5	S02	夏秋ミニ	52,800
6	S03	夏秋加工用	24,100
7	W01	冬春	277,300
8	W02	冬春ミニ	98,100

(品目表)

	A	B	C	D	E
1					
2	出荷表				
3	コード	生産地	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
4	W01	熊本	15,200	72,200	69,900
5	W02	熊本	9,590	36,400	35,200
6	}	}	}	}	}
208	S01	沖縄	2,400	24	18
209	S03	石川	1,100	11	11

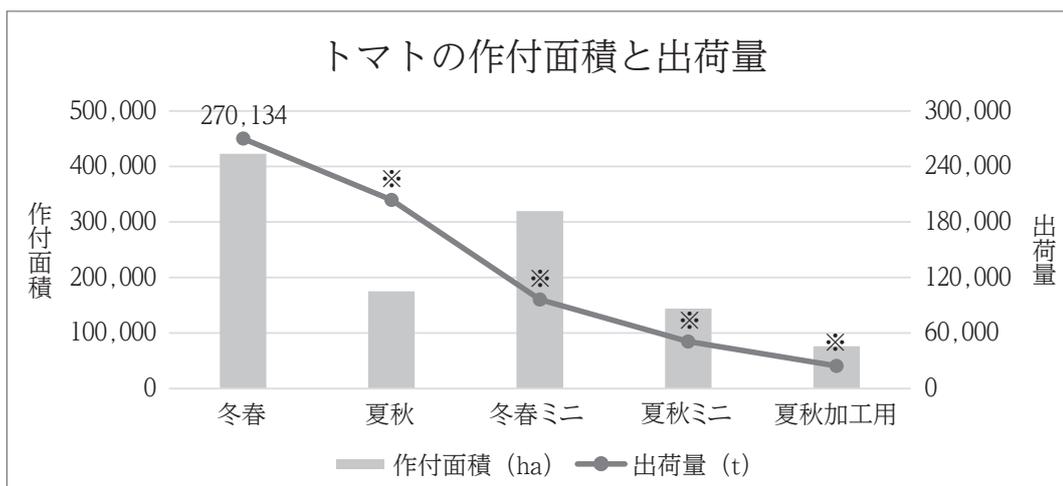
(出荷表)

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

トマトの出荷報告書

1. 全国出荷量表

コード	品目名	作付面積 (ha)	前年出荷量 (t)	出荷量 (t)	前年比	産地数
W01	冬春	422,980	277,300	270,134	97.4%	47
S01	※	※	※	※	※	※
W02	※	※	※	※	※	※
S02	※	※	※	※	※	※
S03	※	※	※	※	※	※
	合計	※	※	※		



2. 中部地方出荷量表

生産地	収穫量 (t)	出荷量 (t)	順位	出荷割合	備考
新潟	8,360	5,660	6	67.8%	
富山	※	※	※	※	※
石川	※	※	※	※	※
福井	※	※	※	※	※
山梨	※	※	※	※	※
長野	※	※	※	※	※
岐阜	※	※	※	※	※
静岡	※	※	※	※	※
愛知	※	※	※	※	※

(報告書)

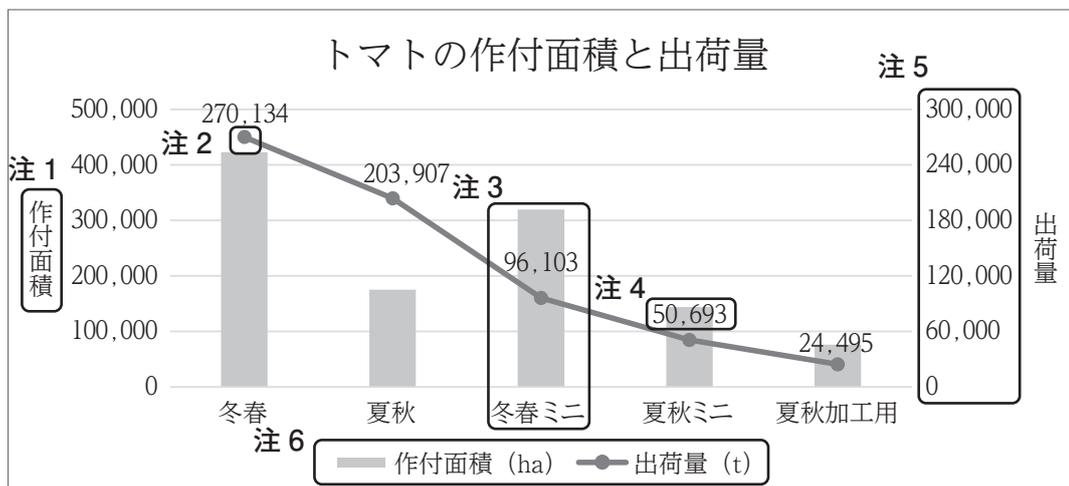
(令和6年9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第71回)情報処理検定試験ビジネス情報 第2級 実技

審査基準

A	B	C	D	E	F	G	H
1	トマトの出荷報告書						
2							
3							
4	1. 全国出荷量表						
5	コード	品目名	作付面積 (ha)	前年出荷量 (t)	出荷量 (t)	前年比	産地数
6	W01	冬春	422,980	277,300	270,134	97.4%	47
7	S01	夏秋	174,990	207,600	203,907	98.2%	47
8	W02	冬春ミニ	319,470	98,100	96,103	98.0%	47
9	S02	夏秋ミニ	143,910	52,800	50,693	96.0%	47
10	S03	夏秋加工用	76,450	24,100	24,495	101.6%	18
11		合計	1,137,800	659,900	645,332		



2. 中部地方出荷量表

生産地	収穫量 (t)	出荷量 (t)	順位	出荷割合	備考
新潟	8,360	5,660	6	67.8%	
富山	1,743	1,187	9	68.2%	
石川	3,080	2,510	7	81.5%	
福井	2,330	2,039	8	87.6%	
山梨	6,740	6,260	5	92.9%	
長野	16,070	13,670	3	85.1%	
岐阜	27,210	25,010	2	92.0%	○
静岡	13,440	12,420	4	92.5%	○
愛知	47,660	44,640	1	93.7%	○

配点

- ① 表の作成 () の箇所 …… 5点×13箇所=65点
注7 長野が空白, 岐阜が○。
- ② 罫線 …… 5点×1箇所=5点 (2つの表の罫線が正確にできている)
- ③ グラフの作成 () の箇所 … 5点×6箇所=30点
注1 方向。
注2 冬春の出荷量 (t) が折れ線グラフであること。データラベルとマーカーの有無は問わない。
注3 冬春ミニの作付面積 (ha) が集合縦棒グラフであること。
注4 数値 (50,693)。
注5 最小値 (0), 最大値 (300,000) および間隔 (60,000)。
注6 位置はグラフの下側にあること。左右の順序は問わない。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。